

2/19 早朝

野党統一候補の 参院選擁立訴え

あす福井で県民集会

今夏の参院選福井選挙区（改選数一）で、県内野党に統一候補擁立を訴えていふと、市民グループが二日午後六時から、福井市田原一丁目のフェニックス・プラザで「『野党は共闘』戦争する国づくり反対！県民集会」を開く。嘉田由紀子前滋賀県知事の講演もある。参加無料。

主催は、安全保障関連法への反対を訴える「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」。十八日に屋敷絢美代表らが県庁で会見し、「戦争法廃止の統一候補を出す市民運動をしたい」と説明。集会の場で

決議し、民主、共産、社民、緑の党の三政党一団体の県内組織と連合福井、県労連に候補者統一の要請を行つとした。

集会では、嘉田氏が「一強多弱への挑戦－チーム滋賀をなぜ作った」と題して講演する。アクションと連携して安保法に反対する活動を続けるママの会、福井大有志の会、退職教職員の会、丹南市民の会も意見発表する。三政党一政治団体の県内各代表も出席し、それぞれの考え方を述べる予定。

参院選福井選挙区には自民出身の参院議長・山崎正昭氏(左)のほか、野党から共産の山田和雄氏(右)、無所属で連合福井事務局長の横山龍寛氏(五)が立候補を表明している。

(尾嶋隆玄)